

3日目：R エディタを使う

本日は、「R エディタ」を使ってRをコントロールしてみましょ。なお、昨日命令を書いたり、結果が示されたりしたのは「R コンソール」です。Rのコントロールは、「R コンソール」を使うという手と、「R エディタ」を使うという手の2つがあります。それぞれに便利などころがあるので、適切に使い分けるのがよいのかなと思っていますが…

まず、Rを起動しましょう。

次にR エディタを表示させます。メニューバーの「ファイル」から「新規文書」を選ぶか、ショートカットの「コマンド + N」で、新規のエディタ画面が出てきます。



では、このR エディタに「2+3」入力してみましょ。R コンソールへの入力時であれば、「2+3」と入力してリターンを押せば計算を実行してくれます。ところがR エディタでは、「2+3」と入力してリターンを押してもカーソルが一つ下に動くだけです。R コンソールにも、何の変化もないはずで。

さらに「3+4」と入力してリターン、「4+5」と入力してリターンとやってみてください。やはりR コンソールには何の変化もなく、R エディタには右のように入力されているでしょう。

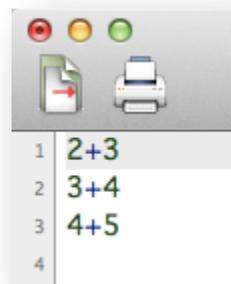


R エディタでは、リターンが実行の指示にはなりません。その命令を実行させるには、別の指示が必要になります。このことは逆に、複数の命令を先に書いておいて、一気に実行させることができるということになります。

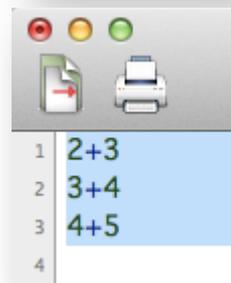
では、命令を実行させてみましょ。R エディタの方で、カーソルを1行目の2+3の行に動かしてください。

すると右図のように1行目だけ色が変わります。

ここで、メニューバーの「ファイル」から「実行」を選ぶか、ショートカットの「コマンド + リターン」を押します。するとRコンソールの方に、命令と結果が表示されます。



続いて、Rエディタで1行目先頭から3行目末尾までをドラッグして選択してください。そして、メニューバーの「ファイル」から「実行」を選ぶか、ショートカットの「コマンド + リターン」を押します。するとRコンソールの方に、3つの命令とその結果が表示されます。



なお、Rエディタからの命令が終わったあと、今度はRコンソールに移って、直接「5+6」を計算してみてください。

何の問題もなく、この計算をやってくれます。つまりRエディタからの命令とRコンソールに直接入力する命令が混在してもかまわないのです。

RコンソールとRエディタをいったり来たりしながら、いろいろと計算命令を出してみてください。

このように、命令をまとめて実行できることがRエディタのメリットですが、もう一つ、命令群をまとめて保存できることがあります。昨日、Rコンソールの履歴を保存できることは紹介しました。これを呼び出して使えば似たようなことはできるのですが、これを使ったとしても、一つひとつの命令を順にやっていくしかできません。

また、Rエディタは同時に複数を開くことができますので、以前のものから一部をコピーしてもってきながら、新しいものを組み上げることもできます。残しておきたい命令はRエディタから、テンポラリーな命令はRコンソールでといった使い分けをすると便利だと思います。

では、3行を書いたRエディタを保存してみましよう。後々も活用するので、どこかにRの練習のための専用フォルダを作成して、そこに保存してください。拡張子は、「.R」になります。Rエディタにあるアイコン(右図)からも保存できます。



保存ができれば、Rを終了します。イメージファイルの保存は、しなくても問題はないで

しょう。

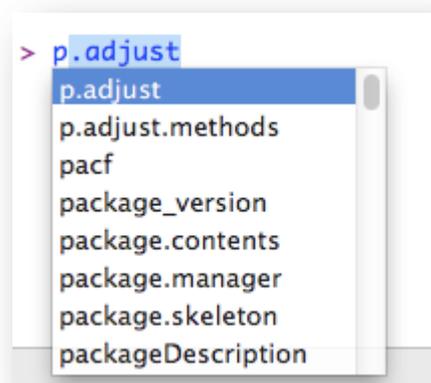
終了したら、再度Rを起動してみます。先に保存したRエディタファイルをダブルクリックしてみてください。

このように、RエディタのファイルをダブルクリックすることでもRを起動することができます。

以上で、今日のポイントはおしまいなのですが、おそらく30分はかかっていないと思います。今日は、何だかRエディタのメリットばかりを強調したような気もするので、Rコンソールの便利なところも書いておきましょう。

一つ目は、履歴が簡単に呼び出せることです。Rコンソールでは、昨日紹介したような履歴の呼び出しや、上向き矢印で履歴を呼び出すことは簡単ですが、Rエディタの方には直接呼び出せません。

二つ目は、今後結構使うことにもなると思いますが、関数を入力する補助手段がRコンソールにはあります。たとえば昨日 `print` という関数を使ってみました。Rコンソールに `p` とだけ入れてタブキーを押してみてください。すると、`p` で始まる関数の候補を提示してくれます。`p` で始まる関数はかなり多いようなのですが、`pri` まで入れてタブキーを押すと、かなり絞られます。スペルを忘れた時(?)とかには便利。これはエディタではできないことです。



さて、これで3日目は終了です。